

## 入金入力・消込の登録について

入金入力・消込の取り扱いが、今回のバージョン（5.0.0.0以降）より大きく変わっています。

入金・入金消込は請求処理に大きく関わりますので、注意してください。

## 締め切りに依存する入金手続きを廃止しました

5.0.0.0より前のバージョンでは随時締切の場合を除いて、入金を行うにあたって入金予定額の合計を算出する必要があるため、入金を行う前の締め切りタイミングで締切処理を行っていただく必要がありました。

5.0.0.0以降では、締切を行っている・行っていないに関わらず、入金手続き並びに入金消込が出来るようになりました。

また、締切処理の有無に依存しなくなりましたので、消込等も随時伝票単位で行うことが可能になりました。

## 先入金の設定が廃止になりました

5.0.0.0より前のバージョンでは、入金の取り扱いとして

- ・先入金をする
- ・先入金を行わない

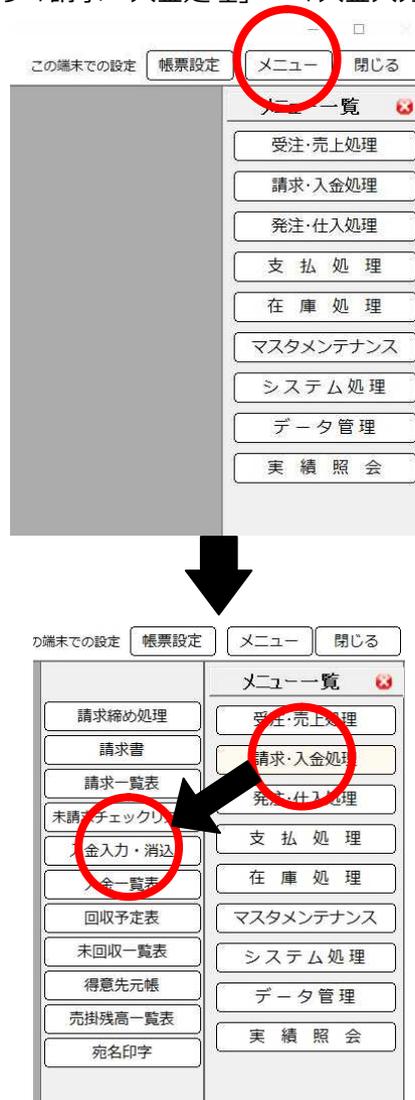
の選択ができ、先入金処理の制限をかけることが出来ました。

しかし、5.0.0.0以降では設定項目を撤廃し先入金を行えるようになっています。

これは、先の項目の締め切りに依存する入金手続きの撤廃に伴う仕様変更となります。

## 入金入力・消込をするには

入金入力・消込は、メニュー一覧より「請求・入金処理」→「入金入力・消込」で行えます。





## 設定

入力・表示設定

入力・表示設定  
※入力したい項目および表示したい項目を設定して下さい。

入力	表示	入力または表示する項目	幅	間隔
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入金No	0	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	伝票日付	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入金日	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	得意先CD	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	請求月	0	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	取引区分	90	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入金区分	90	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	手形期日	110	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	摘要CD	88	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	摘要/銀行名	360	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	金額	100	空白
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	備考	240	空白
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

F1 設定 F12 戻る

入金入力・消込における動作と表示の設定を行います

画面内チェックボックス、他各項目の意味は以下の通りです。

入力：カーソルキーの移動をエンターキー等でカーソル移動を許可します。

チェックが入っていない場合はその項目をスキップします。

マウスカーソルでクリックして直接入力をすることは可能です。

表示：画面内に項目を表示するかを選択します。

選択されなかった場合は表示されません。

間隔の項目で、空白という文字が初期値で入っている項目は、非表示の場合の表現を選択出来ます。

空白：項目名が消えますが、枠は残ります。

なし：項目自体が消え、枠は詰められます。

項目にデータが入っている伝票がある状態で表示を消した場合、項目表示が無くなるので表示されませんが、データ自体は消えることはありません。

表示チェックボックスを有効にすることで、再度登録されていたデータは表示されます。

処理設定：伝票区分の初期設定を、掛け売り・現金売りから設定します。

幅：それぞれの項目表示の幅を設定します。

0が予め設定されている項目は変更することは出来ません。

初期設定されている数値は画面内に納まる数値が設定されています。

画面以上の大きさを設定された場合は伝票画面を引き延ばさず、横スクロールバーが表示されます。

画面の表示調整を行わない関係から、画面枠を横へ引き延ばしても入力画面は拡張されません。

## 入金入力・消込

入金の登録・修正・削除・売上等に対する消し込みをおこないます

以下、入力・表示を、入金部・入金引当部・合計金額部と大きく3つに分けて記載します。

### 入金部

入金部は入金入力の内容を表示、入力出来ます。

### 入金No

入金入力の伝票番号が表示されます

この項目にカーソルがある状態では、

F3 入金検索                   すでに登録されている入金伝票を検索して表示することが出来ます  
が利用可能です。直接入金伝票番号を入力しても呼び出すことも可能です。

呼び出された伝票が表示されている時、

F9 削除                       表示されている伝票を削除します  
が利用可能となります。

新規に登録する場合は、何も入力しないで Enter キーで次の項目に進みます。

伝票番号の新規登録方法は、「システム処理」→「システム設定」から伝票カテゴリにある、伝票番号の採番方法を指定します。初期設定は、登録時設定です。

## 伝票日付

登録する伝票の日付を設定します

新規登録の状態ではカーソルがこの項目に移動した時、入力当日の日付を自動で表示します。

別の日付を選択したい場合は、西暦表示になっている数値を変更するか、項目右の

伝票日付 20190605 

赤丸部分をクリックすることで、カレンダーからの日付選択が出来ます。

登録済みの伝票を表示した場合は、登録された日付を表示します。

入金日付は伝票を何日付で登録するか利用するため、入力内容によっては

最終更新 2019/06/17 20:58:21

売上入力画面右上に表示される、最終更新の日付と異なる場合があります。

## 入金日付

登録する伝票の金額を何日付の入金とするかを設定します

入金日付が指定されていないと、登録は出来ません。

ここで指定される日付が、登録された金額を反映させる日付となります。

日付の指定は、直接日付を登録するかカレンダーからの選択が可能です。

## 得意先

得意先

入金入力を行う得意先を指定します

基本は予め得意先登録に登録されている得意先を利用します。

登録されている得意先を利用する場合は、

F3 得意先検索      得意先登録に登録されている得意先を検索します。

から得意先検索を行うか、直接得意先 CD を入力することで呼び出します。

## No

明細行の行数を表示します

明細行が入力される毎に自動で採番されます。

## 取引区分

0	取引区分
1	掛け売り
	掛け売り
	現金売り

登録する明細行の取り扱い区分を表示、指定します

指定できる区分は

掛け売り

現金売り

の二つです。

掛け売りの場合のみ請求書の明細行に記載されます。

## 入金区分・手形期日

入金区分	手形期日
振込	
振込	
手数料	
現金	

登録する明細行の入金区分を表示、指定します

登録できる区分は

振込            振込で入金された場合を想定しています

手数料        振込手数料を明記する際に利用します

現金           現金で受け取った場合に利用します

小切手        小切手で受け取った場合を想定しています

手形           手形支払として受け取った場合の記載で利用します

相殺           相殺金額を記載するときに利用します

値引           入金時に値引き額を明記するときに利用します

その他        以上の項目以外の理由で利用します

の七つです。

このうち、小切手と手形を指定したときのみ手形期日が入力可能になります。

手形期日は、直接入力かカレンダーからの選択が可能です。

## 摘要 CD・摘要／銀行名

摘要CD	摘要／銀行名

明細行の摘要や銀行名を表示、入力します

摘要 CD は、「マスタメンテナンス」→「汎用コード名称登録」にて、対象が適用になっている状態で登録されている場合に、直接コード入力か検索で呼び出して指定します。

この項目にカーソルがあるときには

F3 摘要検索 「汎用コード名称登録」で登録されている内容を検索することができます

F4 摘要登録 「汎用コード名称登録」を呼び出して追加登録することが出来ます

が新たに利用可能になります。

摘要 CD にコードが指定された場合、登録された内容が摘要／銀行名に表示されますが、摘要 CD に何も入力すること無く直接、摘要／銀行名に内容を入力することも可能です。

## 金額

入金区分に指定された項目の金額を表示、入力します

標準仕様は 9 桁まで入力可能です。

## 備考

明細行毎の備考を表示、入力します

標準仕様は、全角 20 桁まで入力可能です。

## 入金引当部

入金明細部で入力された金額の範囲で、該当する入金引当可能明細を表示、入力できます。

ここでは入金処理中の得意先に登録されている、引当残高が残っている売上傳票が、得意先指定時に自動で表示されます。

過去、未来関係なく未引当の伝票全てが表示されます。

## 売上傳票項目 (No・取引区分・売上日・売上 No・伝票区分・締め月・売上額)

指定された得意先名目で登録され、入金引当が可能な伝票情報が表示されます

No (明細行 No)	引当残高が残っている売上傳票の通し番号です
取引区分	該当行売上傳票に登録されている、取引区分を表示します
売上日	該当行売上傳票に登録されている、売上日を表示します
売上 No	該当行売上傳票に登録されている、売上 No を表示します
伝票区分	該当行売上傳票に登録されている、伝票区分を表示します
締め月	該当行売上傳票に登録されている、締め月を表示します
売上額	該当行売上傳票の売上額合計を表示します

各項目は任意に変更することは出来ません。

## 消費税額

該当行売上傳票、もしくは締め切り範囲内の消費税額を表示します

該当売上傳票にて外税、もしくは締め日単位での消費税計算を行った場合、その金額が表示されます。

現金売りの場合は売上額と同列で表示されますが、それ以外の場合は伝票区分が消費税という表記になり、別の行に消費税額のみ表示されます。

## 前回消込額

表示されていない入金伝票、もしくは新規伝票以前に入力された該当行消込額の合計額を表示します

登録されている入金伝票を呼び出した時、該当行で消込額を登録している場合は、その額を差し引きます。

## 今回消込額

該当行に対する消込金額を表示、入力します

入力できる金額は、

(売上額 + 消費税) - 前回消込額

の計算結果と、入金部入金金額を超えない範囲に限ります。

## 残高

該当行の消込額を差し引いた金額を表示します

残高の計算式は行単位で行われ

（売上額 + 消費税） - （前回消込額 + 今回消込額）

となります。

## 合計金額部

入金部・入金引当部の金額合計を表示します

## 入金：取引区分

入金部で扱われている取引区分を表示します

現在は、掛け売り・現金売りの2区分を表示します。

## 入金：前回入金残高

前回までに入金された残高を表示します

指定されている得意先が締め切り締め切りの設定であり、表示されている時点で締め切りを行った事があるとき、直近の締め切りデータの入金額合計が表示されます。

## 入金：今回入金額合計

今回入力した入金額の合計を表示します

入金部明細に記載されている入金額区分毎の合計を表示します。

## 売掛金：取引区分

売掛金における取引区分を表示します

現金売りは売掛金には含まれませんが、引当処理範囲内と取り扱うので、併記するようになっています。

## 売掛金：売上額合計・売掛金：消費税額合計

指定された得意先の入金消込対象額合計・その売上に対する消費税額合計を表示します

## 売掛金：前回消込額合計

現在入金部に表示されていない、もしくは新規伝票以前に入力された取引区分の消込額合計額を表示します

## 売掛金：今回消込額合計

現在入金部に表示されている、取引区分毎の消込額合計金額を表示します

## 売掛金：残高

区分毎の入金後差引額を表示します

計算式は

（売上額合計 + 消費税合計） - （前回消込額合計 + 今回消込額合計）

となります。